

【起源植物】 レンギョウ *Forssythia suspensa*

【生薬名】 連翹 FORSYTHIAE FRUCTUS

【科名】 モクセイ科Oleaceae



【別名】 異翹. 蘭華. 折根. 軹. 三廉などの別名がある

【薬用部分】 果実、シナレンギョウの果実も同様に使う

【主成分】 オレアノール酸などのステロール類、ビタミンP類、

【薬性】 気味は苦微寒、帰経は心胆に属す

【効能】 ●清熱解毒

●アトピー性皮膚炎、ニキビなど各種の皮膚病に多用

●清熱解毒作用があり帯状疱疹にも応用される

●かなり強い利尿作用

●3～5g

●フェルピロリト配糖体に黄色ブドウ球菌等に対し抗菌作用あり

●メタノールエキスには胆汁分泌促進作用

●中国の研究ではヒト病原菌に対する抗菌作用を確認

●これらの作用は金銀花との併用で効果が増大する

●柴胡と同じように使えるので帯状疱疹で肝臓病あれば柴胡を使わずに連翹を使ってみると良い

●化膿性皮膚疾患、扁桃炎、扁桃周囲炎などにも応用される

【処方例】 ●荊芥連翹湯、清上防風湯、防風通聖散、竜胆瀉肝湯、治頭瘡一方など主に熱証の炎症を解く薬物として作用する

【出典】 神農本草経・連翹. 一名異翹一名蘭華一名折根一名軹一名三廉. 味苦平. 生山谷. 治寒熱鼠瘻. 瘰癧癰腫. 惡瘡癭瘤. 結熱壅毒.